平成３０年度　第１回

旭川市音楽堂等運営協議会

日　時：平成３０年６月２８日（木）
　　午後６時３０分～午後８時１５分
場　所：旭川市大雪クリスタルホール
　　１階　第１会議室

平成３０年度　第１回　旭川市音楽堂等運営協議会　会議録

【日　　時】　平成３０年６月２８日（木）午後６時３０分～午後８時１５分
【会　　場】　旭川市大雪クリスタルホール　１階　第１会議室
【出 席 者】　委員：木村会長，小原副会長，小山委員，佐々木委員，
　　庄司委員，高野委員，富田委員
　　市側：社会教育部長，文化ホール担当課長
　　大雪クリスタルホール館長，主査３名

【内　　容】
１　開　会
２　社会教育部長挨拶
３　会長挨拶
４　議　事

事務局：議事（１）平成２９年度旭川市大雪クリスタルホール利用状況について説明した。
～会議資料１ページ～
議　長：ただいま事務局より，平成２９年度の利用状況について報告がありましたが，何か御質問のある委員はいらっしゃいますか。
なければ，（２）平成２９年度自主文化事業実施状況について事務局から御説明願います。
事務局：（２）平成２９年度自主文化事業実施状況について説明した。
～会議資料２，３ページ～
議　長：事務局より平成２９年度自主文化事業実施状況についての説明がありましたが，御意見がありましたら発言をお願いいたします。
また，自主文化事業コンサートなどの感想もお聞かせください。
委　員：２点ほど質問したいのですが，まず自主文化事業のこどもオペラについてです。たくさんのお客さんが来られたということですが，夏休み中の日曜日だったということのほかに，何か，お客さんがたくさん来られたことの理由はあるのでしょうか。
事務局：０歳の赤ちゃんから入れるコンサートというのは、道内でもあまり多くはないかと思いますので、そのことは大きく影響しているのではないかなと思います。小さいお子さんを連れてコンサートに出かけるのは大変難しいと思いますし，子どもを預けてまでは行けないという方も，子どもさんを連れて一緒に入れるコンサートがあるということで、大変喜んでいただいています。

今回はワークショップの方も大変人気があり，５０名の定員だったところに７０名ほどの申込みがありました。

委　員：出演者の方達からは，御意見やアドバイスなどはありましたか。

事務局：こどもオペラは小さな子どもから入れるコンサートですので，たく　さんの方に来ていただいたということで喜んでいただきました。

また，昨年のこどもオペラを観たお母さんから，クリスタルホールの近くを通るたび，子どもさんが「こぶたちゃん，こぶたちゃん。」と言っているというお話を聞きました。

委　員：もう一つ，冬休み音楽講座でパイプオルガンを使ったということが書いてありましたが，息子の通う中学校で，先日授業の一環としてクリスタルホールのパイプオルガンを見せていただく機会がありました。大変興味をもって，素晴らしい体験ができたと喜んでいました。

市内の小中学校では，そのような授業の一環としてホールを訪れるという機会が，ほかにもたくさんあるのでしょうか。

事務局：神楽中学校と神楽小学校は，社会教育施設が近隣にあるということで，総合的学習の授業の一環としてホールを訪れることがあります。本当はすべての学校を対象にできればいいのでしょうが，特定の学校に限られているのが現状です。

委　員：門戸を広げて，もっとたくさんの学校に来てもらうように，というのは難しいでしょうか。

事務局：学校単位ということになると難しいかと思います。夏休みや冬休みの子ども音楽講座で，パイプオルガンやチェンバロなどの楽器の紹介もありますので，そうした機会を利用していただけたらと思います。

事務局：博物館や彫刻美術館などでは，毎年何校かを送迎授業として交通手段を確保して来てもらったり，あるいは出前授業として学校に出向いたりということがありますが，やはり来てもらうためには交通手段確保のための予算も必要になりますので，なかなか拡大は難しいというのが現状です。

事務局：社会教育施設として，学校に出前する事業や，来てもらう事業がありますが，クリスタルホールの関係としてこういうメニューがありますよ，ということが打ち出せるのか，検討していきたいと思います。

委　員：ケヴィン・ケナーのオールショパンプログラムのピアノコンサートは非常に素晴らしかったのですが，こんな有名な方が来られて演奏会するのに半分ぐらいしかお客さんが入っていませんでした。音楽堂だけでなく市のいろんな事業もあると思いますので，そうした機会に宣伝し，沢山の人に来てもらうような工夫が必要ではないかと思います。

谷本光のコンサートもとても素晴らしいコンサートだったのですが，こ

れも１９０名余りの人しか来ていなかったのは，非常にさみしい感じがしました。

委　員：当時２歳だった子どもを連れてこどもオペラを聞きに行きました。こどもオペラは，赤ちゃんから入れるというので，とてもいいと思いました。年にもう１回やっていただいてもいいなと思います。

事務局：昨年度の集客の状況につきましては，開催の時期も影響があったのかなと思います。冬の時期というのはなかなか足を運んでいただけない時期かもしれませんが，逆に，冬は音楽堂が空いていて利用しやすいということもあります。開催時期については，皆さんの足の運びやすい日にちや時間帯を意識しながら考えていきたいと思います。

委　員：私もケヴィン・ケナー，谷本光のコンサートを聞きに行きましたが，集客の点では本当にもったいないなと感じました。いろいろな所にチラシも置いてありましたが，それは手に取って見ないとわからないのですね。読んでもらうために，もう少し何か工夫ができないかと思います。

事務局：市の広報誌が今年リニューアルされ，お知らせのページが新しくなりました。従来は各部のお知らせが羅列されたような感じでしたが，新しく「子育てのページ」や「福祉のページ」「文化のページ」といった形で分類され，見出しが付くようになりました。クリスタルホールの事業も文化のページの中で頭出しができるようになりました。また，映像を利用した周知方法等についてもいろいろ考えていきたいと思います。

事務局：広告の媒体としましては，北海道新聞社の共催をいただき新聞広告を掲載したり，無料配布の情報誌などに掲載したりするほか，今年７月開催の「青島広志おしゃべりコンサート」では，勤労者共済センターが会員への鑑賞助成を行うこととなり，会員配布のパンフレット 4,700 部に１ページの広告が掲載されたりしました。

市が作成したチラシが１万部ですので，4,700 部の広告が会員の家庭に配られたというのは大きいなと思っています。

委　員：私はこどもオペラ以外の全ての公演を観ることができましたが，どれも素晴らしいコンサートでした。ですからどうしてもっと人が入らないのだろうというのが，大変残念でした。確かに，とても良い内容なのに人があまり入らないという事があります。私は，嘘でなければ少し大げさに宣伝してはどうか，と言われたことがあります。やはり，宣伝はどんどんしていいのではないでしょうか。

議　長：ただいま，委員から宣伝はどんどん行ってはどうか，というお話がありましたが，東京のあまりアクセスの良くないホールでの演奏会を思い出しました。そこは都内２３区から少し外れた市なのですが，アクセスがあまり良くない分，都区内の演奏会より低廉な価格で聴けるというこ

とを積極的にアピールして宣伝をしていました。結果，そこでの演奏会では完売が続出しているということでした。チラシも手にとって見てもらわなければ分かりませんので，メリットを訴える目立つ作り方をすることも必要かもしれません。

では次に，（３）平成３０年度自主文化事業計画について，事務局より御説明願います。

事務局：（３）平成３０年度自主文化事業計画について説明した。

～会議資料４ページ～

議　長：事務局より平成３０年度自主文化事業計画についての説明がありましたが，御意見がありましたら発言をお願いいたします。

委　員：青島広志さんの「おしゃべりコンサート」は人気があるのだろうと思いますが，前売券おとな 2,000 円，こども 500 円という入場料も決め手ではないかと思います。１２月の山形由美さんのコンサートでは前売券大人 4,500 円，当日券だと 5,000 円になります。この時期は皆さん様々な予定もあることと思いますので，出費のかさむ時期でもあります。小学生，中学生を対象としたものでも，時間によっては保護者が一緒に来なくてはならなくなり，そうすると金額も膨らみます。素晴らしい価値があるものでも，いろいろな事情で難しい場合もあるのかなと思います。

また，宣伝については，若いお母さん達に伝えるには紙媒体よりもスマホを利用するので，フェイスブックやインターネットの情報を利用することが有効です。小学校に新聞を持ってきてくださいと言うと，無料配布の情報誌を持ってくる子どもが多くいます。

夏休み子ども音楽講座のチラシについてですが，小学生は「チェンバロ」といっても想像ができません。視覚的な工夫も必要であると感じます。

事務局：市の方でもホームページについてはだいぶ充実してきているのですが，携帯電話の分野の発信も考えていかなければならないかと思います。

事務局：市にもフェイスブックはありまして，そこには掲載しています。ホールとしてのフェイスブックを持てれば一番いいのですが，それはこれからの相談ということになろうかと思います。

金額の設定については，3,500 円とか，もっと低く 2,000 円くらいで行ったこともあります。一方で，4,000 円とか 4,500 円だとどうなのかな，というところは，考えていかなければならない部分もあるのかなと思います。

予算的なことを申し上げますと，ある程度満席に近くで収支を均衡にする考え方もありますし，公演によっては，集客数として見込んだ数で収支がまかなえるようにするという考えもあります。

シルバーの方など安い金額の方がどの程度見込まれるのかといったことも料金設定の時の判断材料になるのかなと思います。

委　員：今，ＱＲコードの利用が広がっていますので，そういったものの活用も必要かなと思います。

議　長：では次に（４）その他の事業について，事務局より御説明願います。

事務局：（４）その他の事業について説明した。

～会議資料５，６ページ～

議　長：事務局よりその他の事業計画についての説明がありましたが，御意見がありましたら発言をお願いいたします。

委　員：現実的かどうかはわからないのですが，例えば，旭山動物園とサイパルの年間パスポートが一緒になったものがありますが，これと相乗りするような形があれば，もっとクリスタルホールにも行きやすいのではないかと思います。

事務局：クリスタルホールのホールメイトというのは，会員となり年会費を払うと，年何回かのクリスタルホールの自主文化事業のチケットを 10%割引で買えるというものです。動物園などを何度も行くことのできる年間パスポートと，ホールメイトとは仕組みが違うので，一緒にはしづらいかなと思います。

事務局：同様の施設として市には市民文化会館もあります。私はクリスタルホールだけでなく市民文化会館も担当していますので，市民文化会館の自主文化事業も割引対象としてどうなのかとか，ホールメイトの活動がもっと活発になるような方策について考えてみたいと思います。

議　長：東京の上野には音楽ホールや美術館，動物園などがありますが，一定期間，どこもフリーパスで入れるというような企画が行われます。ホールメイトは仕組みが違うということも承知の上ですが，何か付加価値をつけるようなものがあればいいなと感じます。

事務局：その他の事業の中の，予算・決算に関してですが，大雪クリスタルホールの建物はできてから２５年が経過していますので，例えばホールの調光盤ですとか，館内を監視しているコンピュータ設備などの更新時期が来ています。そのほかにも建物の改修や水道管の取替など，早急に対応しなければならないものがたくさんあります。金額も高額になるものが多いですので，市全体として，どのような改修計画を建てて取り組んでいくのか，大きな課題です。

議　長：では次に，（５）平成２９年度社会教育基本計画の点検・評価について，事務局より御説明願います。

事務局：（５）平成２９年度社会教育基本計画の点検・評価について，資料に基づき説明した。

議　長：では，御意見等がありましたら発言をお願いします。

委　員：参加型自主文化事業の「ウインターコンサート」についてですが，私も観に行ったのですが，１グループの出演時間が短くて次々と交替していくという感じがしました。これだけ応募者がいるのですから，２日間の開催にするとか前夜祭を行うとか，もう少しじっくり演奏機会を提供してもいいのではないかという気がしました。

事務局：今後も応募者が多いようであれば，開催手法の検討が必要かと思います。

議　長：他に御意見等がなければ，（６）その他について，事務局からお願いします。

事務局：お手元に「旭川市公共施設等総合管理計画」に関する資料を配付してあります。これについて，大雪クリスタルホールとの関係や今後の展開について御説明します。

本市では，今ある施設が建築年数を重ねて，維持管理費用がこれまで以上に必要になってくるという状況を踏まえ，財政負担の軽減や平準化を目的として，「旭川市公共施設等総合管理計画」を平成２７年度に策定しました。

今後，施設の効率的な維持管理や整備を行い，現在ある施設の機能やサービスを集約するなどして，適切な量にしていこうという計画です。

これはあくまでも「現在の案」の概要なのですが，その中で大雪クリスタルホールについても触れられていますので，御説明したいと思います。

大雪クリスタルホールは建設から２５年が経過していますが，音楽堂の機能は他の施設で代わりにすることができないと考えられますので，「継続の複合施設」と位置づけ，維持保全の計画を持ちながら，市民文化会館や公会堂も含めた３つのホールでの機能連携・集約を考えていこうとするものです。

また，クリスタルホールの会議室（国際会議場）の部分については，市民文化会館の会議室や他の公共施設の貸室機能，またホテルなど民間事業者における貸室スペースと機能が似通ったところもありますので，こうした会議室の部分については，他の施設との役割分担について議論を進めていかなければならないものとしています。

この施設再編計画（案）は今年度中に策定することを予定していますので，今後，皆さんからの御意見もお聞かせ願えればと思います。

委　員：旭川市内には，若い世代が合宿を兼ねた研修ができるという施設がありません。宿泊ができて体育館などもあってというような施設が是非ほしいと思います。廃校となった後の利用や今ある施設の利用でもいいのですが，そのような施設があると喜ぶ人たちは沢山いると思います。

議　長：他に御発言がなければ，これをもちまして，平成３０年度第１回旭川市音楽堂等運営協議会を終了いたします。